

令和6年度SDGs未来都市等成果報告会（11.15開催）

持続可能な次世代学園都市の構築

広島県東広島市（2020年度SDGs未来都市選定）



● 地域の特徴（取組を発想した背景）

広島県東広島市

【市の概要】

- ・人口は約 20 万人、面積は 635 km²
- ・自然豊かで温かな気候
- ・日本酒の酒造りに適した気候。
良質な米と水など好条件が揃い
歴史ある酒蔵が並ぶ日本有数の酒処

【沿革】

- ・1974年 広島大学の統合移転を契機に誕生。大学と共に大きな発展を遂げた「学術研究都市」
- ・4つの大学（広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、エリザベト音楽大学）と多くの研究機関が立地
- ・人口の1割が学生
- ・多くの研究者、技術者、留学生を含む外国人が在住するなど
高い教育力と豊かな国際色を備えた都市へと成長

【近年の課題】

- ・人口増加傾向も鈍化
- ・産業構造の偏重と地域資源の活かしたイノベーションが不足
- ・次世代を担う人材の市外流出

→ **50年後、100年後を見据えた新たなまちづくりの必要性**

【あるべき姿】

- ・イノベーションが生まれ、働き甲斐のあるまち
- ・学生や外国人が定着し、活躍するまち
- ・質の高い教育を受けられるまち
- ・環境に配慮し、持続可能で住みやすく住みとなる先端技術のまち

→ **集積した学術研究機能や豊かな自然、多様な人材といった地域資源が
経済、社会、環境の側面で相互に作用しあうことにより「新たな価値」が生まれる**



「Town & Gown構想の推進」と「次世代学園都市の実現」

① Town & Gown構想の推進

地域の自治体(Town)と大学(Gown)が **自治体の行政資源**と**大学の教育・研究資源**を融合しながら活用することで、**持続的な地域の発展**と**大学の進化**をともに目指す構想

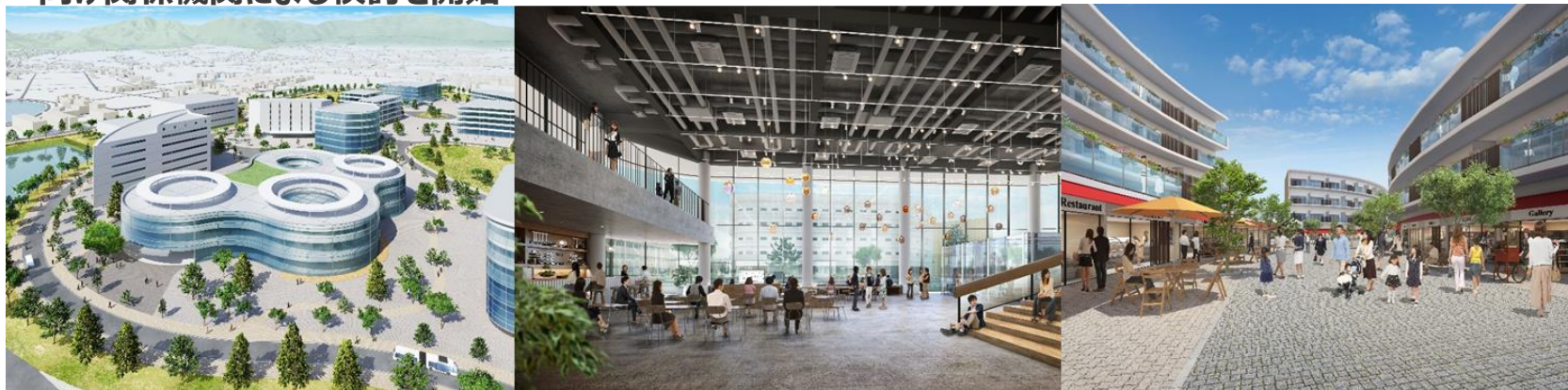
→地方創生の手段として、地域と大学が一体となり

「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に繋がる、地域が抱える多種多様な社会課題解決を目指す

② 次世代学園都市の実現

Town & Gown構想を推進する中で生まれた産官学民共創によるまちづくりのアイデアをまとめ、世界から持続的に選ばれるインターカルチュラルシティを目指し「次世代学園都市」としてまちづくりをスタート

先行して、産業の基盤となる幹線道路、交通ネットワークの強化、良好な居住空間、多様な教育環境の整備に向け関係機関による検討を開始



● 困難やつまずきなど苦労したこと及びそれをどのように克服したか

- ・組織間（自治体、大学、民間企業）で意思決定のスピード感や、予算執行のルール等が異なるため（ex.自治体や大学では発注に関し法令に基づいた入札等がルールであるが、民間企業からはスピード感が無いと感じてしまう）事業の推進にあたって疑問が生じることもあったが、対話を重ね、相互理解を進めた。

● 推進体制（ヒト・カネ・モノ）の整備方法

① Town & Gown Officeの設置

2021年10月にTown & Gown 構想の推進組織である

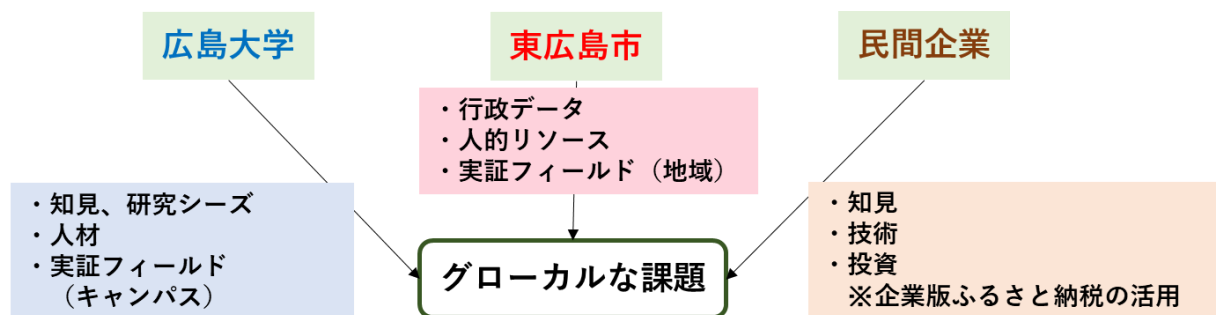
「東広島市×広島大学 Town & Gown Office」を広島大学内に設置

2023年4月には「東広島市×近畿大学 Town & Gown Office」

2024年4月には「東広島市×広島国際大学 Town & Gown Office」を設置し、各大学の特色、強味を活かし様々な連携事業を推進

② 広島大学スマートシティ共創コンソーシアムの設立

Town & Gown構想によるまちづくりを具体的に進めていくため、**広島大学・東広島市・民間企業**が社会課題解決に向けた実証実験に取り組み、成果を地域に社会実装することでイノベーションを創出することを目的として設立。共にまちづくりに取り組む。（参画機関18社 2024年11月現在）



● 庁内調整・外部調整の工夫

【庁内調整】

- ・2024年4月より両副市長をリーダーとして「次世代学園都市構想プロジェクトチーム」を設置
担当部局が一体となって次世代のまちづくりを目指し総合的な取り組みを進める体制を構築

【外部調整（大学）】

- ・市長・学長トップの意思決定のもと、組織的な推進体制を構築
- ・推進組織の設置（クロスアポイントメント、職員の相互派遣）

★★ 地域と大学が相互に相手のことを思いやりながら、双方の発展のために協力しあうことが重要 ★★

● SDGsの視点と政策をどのように結びつけたか

- ・次世代学園都市構想策定時には、
50年を見据えた持続可能なまちづくりを目指し、**Well-being、SDGs、PositivePeaceの理念の下、**
地域全体を高度な学術研究と産業の拠点として発展させることを目指した
- ・次世代学園都市構想のもと、自治体・大学・企業が一体となり、それぞれの知見や得意分野を活かし
政策・個別の施策を推進
 - カーボンニュートラル、エネルギーマネジメント
 - モビリティの検討
 - DX、データ連携基盤の構築
 - まちづくり（居住空間）



●SDGsの取組を推進して良かったこと・周囲の反応など

- ・日本全体が人口減少に転ずる中、「世界に貢献するイノベーション創出のまち」としてさらなる発展、人口増加を目指したビジョンを描くことができた。
- ・理念に賛同した多数の民間企業の参画があり、知見・人材・投資が集積する環境の構築に繋がった。

●今後の展望・他地域への展開

【今後の展望】

- ・次世代学園都市構造の具現化のため、取り組みの方向性を市の総合計画等に位置付けインフラ整備等を含めたまちづくりを具体的に進める

【他地域への展開】

- ・2023年10月全国Town & Gown構想推進協議会を設置（組織図は次ページ参照）
地方大学が地方創生に貢献するためのモデルとして、
Town & Gown構想を日本全国に広めることを目的として設立
- ・全国Town & Gown構想推進協議会主催で「スマート社会産官学民協働まちづくりフォーラム」を開催
Town & Gown構想の推進、カーボンニュートラルの推進、地域連携、スマートシティ構築等をテーマに
学会形式で全国の連携事例を共有

参考資料

全国Town & Gown構想推進協議会

「全国Town & Gown 構想推進協議会」の設立（2023年10月）
地方大学が地方創生に貢献するためのモデルとしてTown & Gown構想を
日本全国に広めることを目的として設立。知見を共有し発展を目指す。

